

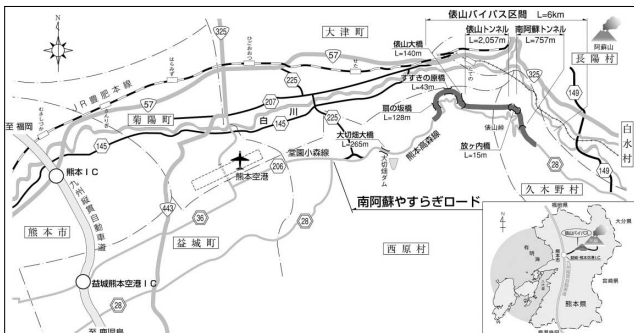
熊本高森線道路改築事業及び熊本高森線単県幹線道路整備特別事業

受賞機関 熊本県阿蘇地域振興局土木部

はじめに

阿蘇地域は、熊本県を代表する観光地であるが、阿蘇地域へのアクセスは国道57号に依存している状況である。一方、県道としては熊本高森線があるが、阿蘇外輪山西側の俵山峠を通る本路線は、幅員が狭いうえ、急勾配・急カーブが連続した交通の難所となっていた。

このため、本県では本路線を「県内幹線道路ネットワークづくり」の主要事業の一つとして位置づけ、熊本都市圏、熊本空港及び高速道路ICと南阿蘇地域を結ぶ「熊本阿蘇幹線道路」として平成5年に本事業を開始し、平成15年10月に開通した全長6kmのバイパスである。



位置図

事業の概要

延長、幅員：L = 6.0km、W = 9.0m (12.0km)

主な構造物：橋梁 4箇所 総延長 0.3km
トンネル 2箇所 総延長 2.8km

規格：第3種第2級

設計速度：50km/h

事業期間：平成5年度～平成15年度

事業費：約147億円

事業の特徴

本路線は、急峻な山岳地形を通過しているため、トンネル・橋梁が多く、構造物の比率は約52%を占めている。その構造は、阿蘇・くじゅう国立公園を通るため、景観及び眺望に配慮し整備している。

特に、トンネル2カ所については、坑門にコンクリート面を最小限に抑えるため竹割り形式を採用し、周囲の景観との調和を図っている。



扇の坂(おうぎのさか)橋梁



久木野村側駐車場から望む阿蘇五岳

コスト削減の取り組みとして、トンネル工事により発生した掘削ズリ約10万 m^3 を、約3km離れた火山砂防工事の貯留堤の盛土材として有効利用した。また、掘削ズリを利用してバイパス終点側に南阿蘇が眺望できる休憩所を兼ねた駐車場を整備した。この駐車場には、車イス対応車用のスペースを確保し、休憩所の転落防止柵の設置については、眺望を阻害しないように設置するなどユニバーサルデザインの考え方を取り入れた。

おわりに

今回の開通により、南阿蘇地域から熊本空港、益城熊本IC、熊本市街地へと幹線道路の横軸ができた。また、距離が3km、所要時間が約10分短縮され、路線バスの定期運行が開始されるなど、地域間の人・物の交流の拡大、救急医療への貢献、観光及び産業振興等に大きく寄与するものと期待されている。最後に、本バイパス区間を含む南阿蘇へのアクセスルート愛称が、一般公募により「南阿蘇やすらぎロード」と決定された。

賛助会員 (株)安部工業所九州支店熊本営業所、(株)ウエスコ、鹿島建設(株)九州支店、川田建設(株)九州支店熊本営業所、(株)建設技術研究所九州支社、(株)福山コンサルタント本社事業部、前田建設工業(株)九州支店、(株)水野建設コンサルタント、三井住友建設(株)、三井造船(株)